

~KENSYU~

谷地南部小学校
ICT 研修だより
2021. 11. 25
No.6 文責 伊藤

家庭学習から3か月

9月に家庭学習に切り替えてから3か月。正直、全員が意欲的に取り組んでいるかというと、そうではありません。提出箱に全員分の家庭学習が出たことが一度もないことから、順調ではないことが分かります。

しかし、成果も見えてきています。まずは、家庭学習の中身です。今までは、ドリル学習やプリント等その日に出された宿題に取り組む程度だったのですが、宿題制度の時は自主勉をしていなかった子も、自分で取り組む内容を考えて学習を工夫するようになってきました。音読も、連絡カードの記入欄だけでは、やったかどうかしかわからなかったのですが、ロイロで提出することによって読み方をじっくり聞くことができ、添削・即時フィードバックが可能になりました。また、ロイロノートで詩を作ったり、音読や歌を録画（録音）して送ったり、タブレットに慣れ親しんだりローマ字入力をしたりという部分でも効果はあったような気がします。先日「山形キューブ会」の方々から教えていただいたルービックキューブに取り組んだ様子を送っている児童もいました。上手に手元を映していて、何だか Youtube の配信動画を見ているようでした。先生方も、ぜひご覧ください。

< 閲覧の仕方 >

- ① 「他の先生の授業」を選択する。
- ② 「3年1組」の「宿題連絡」を選択する。
- ③ 適当な名前でノートを作る。
- ④ 「提出」をタップ
- ⑤ 各提出日の提出箱をタップして閲覧する。



先述した通り、自己調整をしながら家庭学習に取り組めるようになってきたことは大きな成果だと思います。しかし、以前の TANKYU でも書いた通り、学校に求められることは「(前略) 家庭との連携を図りながら、児童の学習習慣が確立するよう配慮すること」(小学校学習指導要領総則編 p.23 参照)です。「学習習慣」というものが、個人差があり、必ずしも毎日取り組むことだけを指すわけではないとは思いますが、今のままではうちのクラスは学習習慣が確立しているとは言えないような気がしますし、「誰一人取りこぼさない」ことを考えると、これから更に良くしていくためにできることは何かを考えて方法を模索していく必要があるのだと思います。学校と家庭が共通認識・同等の熱量で取り組み、両輪で進めていくために良いアイデアを、先輩の先生方のたくさん引き出しからご教示いただければと思います。